

科目名	HOUSE4							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	SAM/PIIn0/HERO		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー	
【科目の目的】									
この科目ではストレッチやアイソレーション等、ストリートダンスに必要な基本的な体の動きを学びます。またハウスのステップを確実に修得したうえで、作品作りではコンビネーションや様々なテクニックを学びます。									
【科目の概要】									
この科目ではストレッチやアイソレーション等、ストリートダンスに必要な基本的な体の動きを学びます。またハウスのステップを確実に修得したうえで、作品作りではコンビネーションや様々なテクニックを学びます。									
【到達目標】									
HOUSEの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解する。音楽の中でグループを掴み表現する。									
【授業の注意点】									
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術を理解、習得している。	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術をやや理解、習得している。	各部位のアイソレーション技術を理解、習得しているが受講態度が良くない。	各部位のアイソレーション技術の理解、習得度が低い。	受講態度も悪く各部位のアイソレーション技術の理解、習得ができていない。				
到達目標 B	受講態度も良くアップダウンの動きを理解し音楽に対してリズムキープができる	受講態度も良くアップダウンの動きを理解、習得している。	アップダウンの動きを理解、習得しているが受講態度が良くない。	アップダウンの動きの理解、習得度が低い	受講態度も悪くアップダウンの動きの理解、習得が出来ていない。				
到達目標 C	受講態度も良くHOUSEの基礎的なステップを理解、習得している。	受講態度も良くHOUSEの基礎的なステップをやや理解、習得している。	HOUSEの基礎的なステップをやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	HOUSEの基礎的なステップの理解、習得度が低い。	受講態度も悪くHOUSEの基礎的なステップの理解、習得ができていない。				
到達目標 D	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けているが受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。				
到達目標 E	受講態度も良く音楽に合わせて何通りもフリースタイルで踊る事が出来る	受講態度も良く音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	短い時間であればフリースタイルで踊れる	フリースタイルで踊る事が出来ない				
【教科書】									

適時レジュメ・資料を配布する

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

成果発表 50% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する  
 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		HOUSE4			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	講師A 応用1	中上級 ステップ	1 中上級ステップ1	中上級のステップワークを実践		
			2 中上級ステップ2	中上級のステップワークを実践		
			3 発表	中上級ステップを組み合わせ発表		
2	講師A 応用2	ステップの組み合わせ	1 規定課題	基礎ステップワークを規定課題として習得		
			2 中上級ステップ	中上級ステップA/B/Cを習得		
			3 発表	規定+中上級ステップで得意なもの組み合わせる		
3	講師A 応用3	ステップの組み合わせ	1 規定課題	基礎ステップワークを規定課題として習得		
			2 オリジナリティ	規定課題に続く得意なステップワークを考える		
			3 発表	規定+オリジナルの振付を発表		
4	講師B 応用1	アクロバットへの導入1	1 アクロバット導入	振付からアクロバットへの導入を実践		
			2 基礎ステップ	基礎ステップ+アクロバットの流れを実践		
			3 反復練習	基礎ステップ+アクロバットの流れ反復練習		
5	講師B 応用2	アクロバットへの導入2	1 中上級アクロバット	より高難易度のアクロバットを実践		
			2 基礎ステップ	基礎ステップ+アクロバットの流れを実践		
			3 発表	ステップワークからアクロバットを発表		
6	講師B 応用3	構成	1 グループワーク	グループごとアクロバットが入った構成を考える		
			2 反復練習	構成を含めた反復練習を実践		
			3 発表	全員の前でグループごと発表		
7	講師C 応用1	踊り分け	1 規定課題	基礎ステップを規定課題として習得		
			2 楽曲1	楽曲1で規定課題を実践		
			3 楽曲2	楽曲2で規定課題を実践		
8	講師C 応用2	グループワーク	1 グループワーク1	基礎ステップを基にグループ練習を実践する		
			2 グループワーク2	グループごと自由なステップを組み合わせる		
			3 構成	基礎+自由なステップ、構成を付ける		
9	講師C 応用3	変則的なステップ	1 変則的リズム	変則的なリズムがある楽曲で正確に踊る		
			2 変則的ステップ	変則的なステップを正確に踊る		
			3 反復練習	変則的なリズム・ステップの正確性を高める		
10	卒業公演 振付1	テーマ理解	1 作品テーマ	振付師が表現する作品テーマへの理解を深める		
			2 楽曲	使用する楽曲への理解を深める		
			3 表現内容	振付イメージ等表現内容を理解する		
11	卒業公演 振付2	ユニゾン	1 振り落とし	ユニゾンパートの振付を習得する		
			2 反復練習	反復練習を行い全員が振付を習得する		
			3 確認	振付師イメージを落としこみをおこなう		
12	卒業公演 振付3	立ち位置・構成	1 レベルチェック1	ユニゾン振付を全体で発表		
			2 レベルチェック2	ユニゾン振付を少人数で発表		

			3 立ち位置・構成	レベルチェックを基に立ち位置・構成を決定		
13	卒業公演 振付4	少人数・ソロ パート	1 振り落とし	少人数・ソロパートの振付を習得する		
			2 オーディション	振付師の指示に従いオーディションを行う		
			3 出演者確定	少人数やソロパート出演者を確定する		
14	卒業公演 振付5	全体構成	1 全体構成	全体の流れ・立ち位置を確認、習得する		
			2 反復練習1	反復練習を行い全員が振付を習得する		
			3 反復練習2	反復練習を行い全員が振付・構成を習得する		
15	レベルチェック	レベルチェック	1 ユニゾン	ニュアンス・振付の正確性を確認		
			2 パート	ニュアンス・振付の正確性を確認		
			3 構成	ニュアンス・振付の正確性を確認		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考等						